Summer Journal 2019

令和元年 7月 1日発行 Vol. 3

株式会社池田車框製作所

暑中お見舞い申し上げます。日本の夏は年々暑さが厳しくなっているように思いますが、めっきの現場は今年も塩飴と麦茶で頑張って乗り切ります!弊社の設備は老朽化がひどかったのですが、5年前から少しずつ更新を開始し、今年のGWの設備更新でほぼ大物設備のリプレイスが完了しました。めっきの現場は過酷ですが、皆様にご安心いただけるように、新しくなった設備たちを大切に使って参ります。

整流器 13台をリプレイスしました!

めっきは電気を直流にして加工するため、交流の電気を直流に変換する整流器が必要です。弊社には全部で40台の整流器がありますが、第一工場の13台は昭和生まれの1台100kg超えでした。昔の機械の方がシンプルだからか壊れずに随分と長い間活躍してくれていましたが、さすがにメンテンナンスの心配がありましたので、『大田区ものづくり工場立地助成』で助成していただき、13台をリプレイスしました!平成生まれの整流器は1台20kgとなり、かなり小さくコンパクトになりました。電流の安定性の向上により、より精度の高いめっき厚コントロールを目指して参ります。

Before



After



大森北旧工場の土壌浄化が完了

池田車框は今年で創業85年です。京浜島に移転してくる前の大森北の旧工場を昨年秋に解体し、土壌浄化を開始しましたが、6月14日に全ての浄化作業が完了しました。弊社の前からめっき工場だったと聞いていますので、100年近い汚れを綺麗にできたのではないかと思い、肩の荷が少し軽くなった気がします。規制の無い垂れ流し時代の汚染を含め、現代の厳しい基準値まで浄化することに対し、若干の理不尽さも感じましたが責任を果たせたことを、天国の創業者である曾祖父と祖父母が喜んでくれているのではないかと思います。

☆銀めっきの量産品を募集中です☆

とても残念なことに10年以上加工させていただいていた大手のお客様の銀めっき品が海外生産へと移管されることが決定しました。そのため銀めっきラインに空きが出る予定です。バレルめっきでの銀めっき加工は対応している業者が減っていますので、お困りなお客様がいらっしゃいましたら、是非ご紹介いただけますとありがたいです。

乾燥機・ベーキング炉を更新

遠心乾燥機も昭和生まれでしたが、平成を 飛び越して令和生まれになりました。動きが 繊細になり、変形発生率の低下などで皆様 のお役に立てればと期待しています。

Before



After



ベーキング炉も更新し、以前は180℃まで しか対応できなかったのですが、300℃まで 対応できるようになりました!予熱の時間が 短縮され、密閉性が高くエネルギー効率が 上がりましたので、環境にも優しいです。

Before

After





お問い合わせ

表面処理・めっきに関すること お気軽にご相談ください。

営業担当

池田 絵理子(4代目就任予定)、 谷田部 良、 戸賀沢 覚、 中林 広視

Tel 03-3790-2222